

対象年度		令和 8年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		食育推進事業						予算事業名		食育推進事業費			
予算科目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	食育基本法				
				04	01	03	2302	経常経費	根拠法令				
総合計画体系		みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指す 健康長寿で安心できる暮らしづくり 健康づくりの推進						事業の区分		主要事業			
								担当課係等		健康増進課 健康増進係			
事業期間		継続 (平成 2年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
地域、各種関係団体等と協働し、市民が健全な食生活を実践できることを目指す。						食育基本法に基づき平成26年3月に策定した「結城市食育推進計画」に基づいて実施している。							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
食育の普及啓発 ・食育推進委員会の開催：庁内の食育関係課の連絡・調整機関（講演会、食育絵画展示、食育レシピ等） ・食育講演会：食育に関する講演会を開催し、知識の普及を図る。 ・食育絵画コンクール募集・展示：市内小・中学生から作品を募集し、展示する。						市民  【事業をとりまく環境の変化】 平成27年度に国・県ともに食育基本計画（第三次計画）を策定した。平成29年度に、食育推進計画を含む第2次結城市健康増進計画を策定した。							
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】					
・食育推進委員会の開催 ・食育講演会（対象：一般市民、食事バランス診断実施） ・食育絵画コンクール募集、展示、表彰 ・食育カルタ作成				・食育推進委員会の開催 ・食育講演会（対象：市内中学生） ・食育絵画コンクール募集、展示、表彰 ・食育カルタ作成				・食育推進委員会の開催 ・食育講演会（対象：一般市民、食事バランス診断実施） ・食育絵画コンクール募集、展示、表彰 ・食育カルタ作成					
■ 事業費													
				R06年度		R07年度							
財 源 内 訳	国庫支出金			0		0							
	県支出金			0		0							
	地方債			0		0							
	その他			0		0							
	一般財源			338		273							
歳入計 (千円)				338		273							
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)			金額 (千円)		金額 (千円)							
	07 報償費			136		257							
	10 需用費			15		16							
	13 使用料及び賃借料			187		0							
歳出計 (千円) (A)				338		273							
伸び率 (%)						-19.23							
備考 総合計画49ページ 予算書117ページ													

# 令和 6年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	食育推進委員会開催回数	回	目標	4.00	4.00	4.00
	健康増進課、給食センター、農政課、子ども福祉課、学校栄養教諭で組織 食育の推進について協議する		実績	5.00	0.00	0.00
	食育講演会の開催	回	目標	1.00	3.00	1.00
	対象については、隔年で一般市民と中学生を交互に実施する		実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	朝食を毎日食べる生徒の割合	人	目標	95.00	200.00	200.00
	朝食を毎日食べる中学3年生の割合		実績	74.40	0.00	0.00
	食育講演会参加者数	人	目標	200.00	200.00	200.00
	食育講演会の参加延べ人数		実績	60.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	全ての世代に正しい食の普及・啓発が必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	食育基本法において食育推進の実施主体は市町村と定められている。
	手段の妥当性	A 妥当である	食育の普及・啓発の手段については、食育推進委員会で協議し決定する。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	コスト効率は高いが、全市民に対して食育に対する理解度を把握できていない。
公平性	受益者の偏り	B どちらも言えない	特に食育講演会において、中学生向けは公平性が保たれているが、一般市民向けの参加者に偏りが見られるため、講演会はターゲット層別にテーマを考えて周知すべきである。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	講演会受講者については、食に関心が持ったという声が上がっているため、繰り返すことで効果が上がる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	食育ポスター展示・表彰式は例年通り実施できた。 食育講演会は講師謝礼の予算に変更が生じたが、講演会を実施でき、内容も参加者からご好評いただいた。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
市民に食育についての意識を浸透させるには相当の時間を要するため、講演会等の開催を計画的に実施していく必要がある。特に子どもへの影響を考え、大人（家族）への食育啓発方法を検討する必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
行政機関及び教育機関と連携強化を図り、小学校・中学校・高等学校などの次世代を担う者に対する食育啓発に取り組む必要がある。また、働き世代への食育が十分にできていないため、SNSを活用した啓発活動や、職域などの連携を進めていく。			

## ■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容 次世代を担う児童・生徒に対しては保育施設や教育関係者と連携し、食育に関する事業を実施するとともに、広く市民に対しても食育に関する啓発活動や事業を継続的に実施する。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input checked="" type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 栄養改善・食育促進事業へ統合	
管理課連絡欄	